

大谷 明裕 (おおたに めいゆう) プロフィール

(社) 日本作曲家協会 理事

本名；大谷彰宏

1954年7月12日 大阪市出身

1973年 大阪府立北野高校卒業

1976年 早稲田大学 中退



学生時代からのバンド活動を経て作曲家・曾根幸明氏に師事。
その後、作・編曲家 池多孝春氏について、編曲・理論を学ぶ。

(代表作)

- 「パッシング・ラブ」 (シュー・ピンセイ) 「倅せにしてね」 (長山洋子)
「酔芙蓉」 (島津悦子) 「冬木立」 (南一誠)
「日本橋から」 (小野由紀子) 「こぼれ月」 (田川寿美)
「越前風舞い」 (松原のぶえ) 「からす」 (小林 旭)
「ありがとう・・・感謝」 「^{ベイサイド}湾岸ホテル」 (小金沢昇司)
「たずねて小樽」 (森 進一) 「風来ながれ唄」 (宮路オサム)
「役者」 (八代亜紀) 「女の秋」 (井手せつ子)

その他

おおたに めいゆう
大谷 明裕 (主な作品リス)

- 「パッシング・ラブ」(シュー・ピンセイ) 「棒せにしてね」(長山洋子)
「北の酒場に居た女」(殿さまキングス) 「北海暴れん坊」(石上久美子)
「あっぱれ恋女房」(米倉ますみ) 「夜明けの別れ」(矢吹春佳)
「雨の出船」(山口貴光) 「男の舟歌」(岩倉 一) 「紫乃」(花田麻衣)
「酔芙蓉」 「酔月情話」 「酔花火」 「夫婦夢灯り」(島津悦子)
「抱かれて乾杯」(落合博満&若山かずさ) 「恋しづく」(若山かずさ)
「冬木立」 「慕情の街」 「振り向けばいい女」 「愛を眠らせて」ほか(南一誠)
「私って」 「花なら花らしく」(島倉千代子) 「恋がたり」(滝里美)
「好きやねん」(河合美智子&生瀬勝久) 「うっしみの」(藤野とし恵)
「さよなら東京」(岡田ひさし) 「未練だね」(日吉ミミ)
「ふたたび長崎」 「ドミノ倒し」(内山田ひろしとタールファイブ)
「いろはにほへど」 「東京エレジー」(小沢亜貴子)
「淋しいね」 「酔いどれ切符」(北見恭子)
「泣いてもいいよ」 「しゃれた恋」(加門 亮)
「日本橋から」 「雨のタンゴ」(小野由紀子) 「こぼれ月」(田川寿美)
「あなたに、、、ごめん」 「ありがとう、、、感謝」 「惚れちまったよ」
「湾岸ホテル」(ベイスайд) 「二人の合言葉」(キーワード) 「言葉のない子守唄」(小金沢昇司)
「役者」 「友の焼酎」(とも さけ) (八代亜紀) 「風来ながれ唄」(宮路オサム)
「越前風舞い」 「雪割草」(松原のぶえ) 「からす」(小林旭)
「北の別離」(わかれ) 「男の忘れな草」(野村将希) 「冬隣」(ふゆとなり) (愛沢竣也)
「風屋台」(森瀬遥) 「風恋」(ふうれん) (愛本健二) 「Again」(希元奈央)
「口笛の港」 「朝顔日記」 「いつもみんなで手をつなごう」 「霧笛の波止場」
「故郷はわが胸に」 「さいはての陽子」 「霧笛」ほか(氷川きよし)
「旅立ちの駅」(一葉) 「最初で最後のラブレター」(神英彰)
「たずねて小樽」 C/W 「おんなの挽歌」(森進一)
「おとこ酒」(坂本裕) 「泣き虫」(和田青児) 「れんげ草」(加川明)
「女の秋」 「終わらない夏」(井手せつ子) 「大阪えれじい」(秋かおり)
「恋猫」(立石 晃) 「ハートブルース」(さくら)

その他 約400曲公表
(2009年1月現在)

① ウォーミング・アップ 発声 (基本三間音)

譜①

Ah - - - - -

(半音ずつ 上行・下行)

譜② 自分の音域を把握しよう。

標準女声音域

ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ
 F F G A B(H) C D E F G A B(H) C D E F
 ミ ファ ソ ラ シ ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド レ ミ ファ
 ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ

標準男声音域
 (但し、実音は、1オクターブ下)

② 共鳴発声と音程感覚

のトレーニング

① 5音階順進と三間音

Ah - - - Ah - - - Ah - - - Ah

② 5音階順進と5度跳躍

Ah - - - Ah - - - Ah Ah Ah

③ 5音階順進と才々-7"跳躍

Ah - - - Ah - - - Ah Ah Ah

④ 上行順進と3度下行

Ah - - - Ah - - - Ah - - - Ah - - - Ah - - - Ah - - -

Ah

⑤ 下行順進と3度上行

Ah - - - Ah - - - Ah - - - Ah - - - Ah - - - Ah - - -

Ah

⑥ オクターブ内、音階往復練習(上行)

ド レ ド ミ ド ファ ド ソ ド ラ ド シ ド ド
Ah - - - Ah - - - Ah - - - Ah -

⑦ 同上(下行)

ド シ ド ラ ド ソ ド ファ ド ミ ド レ ド ド
Ah - - - Ah - - - Ah - - - Ah -

③ 音階を使、左発音練習

5つの母音を並べ変えて、発音練習に利用する。

「ア・エ・イ・オ・ウ」 or 「イ・エ・ア・オ・ウ」 etc.

譜①

ア エ イ オ ウ ア エ イ オ ウ
イ エ ア オ ウ イ エ ア オ ウ

順に半音上行〜

譜② 5音階往復による活舌練習

ア エ イ ウ エ オ ア オ ア エ イ ウ エ オ ア オ ア
ナ ネ ニ ヌ ネ ノ ナ ナ ネ ニ ヌ ネ ノ ナ ナ
マ メ ミ ム モ マ モ マ メ ミ ム モ マ モ マ

and so on.

順に半音上行〜

譜③ 早口言葉を使って、16分音符に慣れるための活舌練習

ナマムギナマゴメ ナマタマゴ ナマムギナマゴメ ナマタマゴ

4 母音と子音について

日本語は5つの母音「あ・い・う・え・お」と唇や舌の動きによる子音の組み合わせによって成り立っています。

ここで、子音の種類について考察しておきます。

1. 唇に作用による子音

「ま・み・む・め・も」「ば・び・ぶ・べ・ぼ」「ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぽ」

2. 舌先の作用による子音

「た・て・と」「ち・つ」(「ち・つ」は音源が少し奥で舌先が下の歯の裏)

3. 舌の中程の作用による子音

「な・に・ぬ・ね・の」「だ・じ・ず・で・ど」

「さ・し・す・せ・そ」(空気の擦過音)「ち・つ」はこれに近い

4. 舌先、裏側の作用による子音

「ら・り・る・れ・ろ」

5. 舌根の作用による子音

「か・き・く・け・こ」「が・ぎ・ぐ・げ・ご」

6. 特殊なものとして

息発声による「は・ひ・ふ・へ・ほ」

舌根と鼻音による「ん」